

# 新鮮！情報便



【<タイトルエリア>…2号】

□発行：東京海上日動 代理店 エコー保険㈱

## ■INDEX

▽時の話題「花見」

▽ちょっとしたことわざ～「桜にまつわることわざ」

▽時の話題「花見」

## ■花見の起源

●花見は奈良時代の貴族の行事が起源だと言われています。奈良時代には中国から伝来したばかりの梅が鑑賞されていましたが、平安時代に桜へと変わってきました。その存在感の移り変わりは歌にも現れており「万葉集」において桜を詠んだ歌は40首、梅を詠んだ歌は100首程度ですが、平安時代の「古今和歌集」ではその数が逆転します。また「花」と言えば桜を意味するようになったのもこの頃からです。

●吉田兼好の「徒然草」には貴族風の花見とそうでない田舎風の花見の違いが説かれており、室町初期には地方の武士階級にも花見の宴は行われていたことが伺えます。

●花見の風習が広く庶民に広まったのは江戸時代、徳川吉宗が江戸の各地に桜を植えさせ、花見を奨励したためといわれています。江戸で著名な花見の名所には愛宕山(港区)などがあります。

## ■花見の現状

●日本国内における桜の花見と言えば、ソメイヨシノを対象としているところが多いですが、全国のほとんどのソメイヨシノが寿命を迎えているといわれています。ソメイヨシノは種子では増えず、全て人の手で接ぎ木で増やしてきたものですので、現在多くの公園などで植え替えが行われています。

## ■日本さくら名所100選

財団法人日本さくらの会が1990年に全国各地の桜の名所100ヶ所を選定しました。その一部をご紹介します。

●北海道 松前公園(北海道)

●東北 弘前公園(青森)、高松公園(岩手)、船岡城址公園・白石川堤(宮城)、千秋公園(秋田)、鶴岡公園(山形)、鶴ヶ城公園(福島)

●関東 日立市かみね公園・平和通り(茨城)、日光街道桜並木(栃木)、赤城南面千本桜(群馬)、大宮公園(埼玉)、泉自然公園(千葉)、新宿御苑(東京)、神奈川県三ツ池公園(神奈川)

●甲信越 大河津分水(新潟)、大法師公園(山梨)、臥竜公園(長野)

●東海 新境川堤・百十郎桜(岐阜)、さくらの里(静岡)、鶴舞公園(愛知)、三多気(三重)

●北陸 松川公園(富山)、兼六園(石川)、足羽川・足羽山公園(福井)

●関西 豊公園(滋賀)、御室桜(京都)、造幣局(大阪)、姫路城(兵庫)、奈良公園(奈良)、紀三井寺(和歌山)

●中国 久松公園(鳥取)、松江城山公園(島根)、鶴山公園(岡山)、千光寺公園(広島)、常盤公園(山口)

●四国 西部公園(徳島)、琴弾公園(香川)、城山公園(愛媛)、鏡野公園(高知)

●九州 西公園(福岡)、小城公園(佐賀)、大村公園(長崎)、熊本城(熊本)、岡城公園(大分)、母智丘関之尾公園(宮崎)、忠元公園(鹿児島)

●沖縄 名護城公園(沖縄)

【ご注意】この情報は2010.3.1時点の情報です。

▽ちょっとしたことわざ～「桜にまつわることわざ」

日本人にとって「花」といえばまず「桜」を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。今回は「花見」にちなんで桜にまつわることわざをご紹介します。

### ●「花より団子」

見て美しい桜の花よりも、おいしくて腹のふくれる団子のほうがよい。風流よりは実利のほうがよい。外観より内容をとるという意味。

### ●「花の下より鼻の下」

「花より団子」と類似。きれいな花を見て楽しむよりは、(鼻の下にある口で)食べていくことのほうが先だということ。

### ●「三日見ぬ間の桜」

たった三日間見ない間に、つぼみであった桜は満開になってしまい、満開の桜は散ってしまう。物事の状態がわずかな間にどんどん変化する。また、この世のはかないことをいう。

### ●「明日ありと思う心の仇桜」

桜は明日もまだ美しく咲いているだろうと安心していると、その夜中に強い風が吹いて散ってしまうかもしれない。人生もそれと同じで、明日にはどうなるかわからないから、頼みにしてはいけない、という世の無常を説いた戒め。

【ご注意】この情報は2010.3.1時点の情報です。